

2024 年 構成組織・ブロック地協における女性の労働組合への参画に関する 調査 集計結果（素案）

2024 年 12 月 23 日 第 4 回男女平等参画委員会

1. はじめに

連合東京は第 18 回定期大会（2023 年 10 月 17 日）の運動方針において、「女性の労働組合への参画に関する調査」を毎年実施することとしている。

これを受け、男女平等参画調査の実施方法について、調査の効率性を図る観点から、2024 年 6 月第 8 回執行委員会において、「構成組織（組織人員）調査」に合わせて実施することとした。その集計結果を報告する。

2. 調査概要

目的	連合東京第 5 次男女平等参画推進計画の進捗状況の把握
対象	48 構成組織、ブロック地協
実施時期	2024 年 6 月～8 月（2024 年 1 月現在の状況を回答）
回答方法	エクセルの調査票に入力後、メールにて提出

3. 回答状況

構成組織は 48 組織中 42 組織、ブロック地協は 4 ブロック地協から回答があった。

4. 連合東京第 5 次男女平等推進計画（連合ジェンダー平等推進計画フェーズ 1）

連合東京は、連合のジェンダー平等フェーズ 1（2021.10～2024.9）を第 5 次男女平等参画推進計画に置き換えて取り組みを進めてきた。

<Chang(チェンジ)！達成目標（必ず達成しなければならない目標）>

1	2021 年以降、組合員の男女比率を毎年調査、把握	
2	2024 年 9 月末までに女性役員（会計監査を除く）を選出	
3	2024 年 9 月末までに執行機関への組合員比率に応じた女性の参画機会の確保	
4	2024 年 9 月末まで女性を常時上三役（会長・会長代行・事務局長）に登用し得る 環境整備	一
5	2021 年 10 月以降策定する運動方針に「『ジェンダー平等』の推進」と明記	

<Challenge（チャレンジ）！推進目標（推進すべき目標）>

6	大会や中央委員会等議決機関への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保	
7	執行機関への組合員比率に応じた女性の参画機会を確保	
8	「ジェンダー平等の推進」を目的とする委員会等の会議体を設置	
9	多様な人たちが多様な形態で参加できるよう、活動スタイルを点検、見直し	

5. 【調査結果のまとめ】

<女性組合員比率>

- ・女性組合員比率は 37.5%。2023 年調査（29%）よりも増加。 P3

<役員構成>

- ・女性の役員比率は 14.2%で、2023 年調査の 13.9%とほぼ横ばい。一方女性書記長・事務局長が 17.5%（2023 年 10.2%）、書記次長・副書記長は 24.3%（2023 年 16.9%）で 7 ポイント上昇している。 P3～4

役員総数に占める女性の割合は 14.2%で、2023 年調査の 13.9%からほぼ横ばい。

三役のうち、女性の書記長・事務局長は、17.5%と 2023 年調査の 10.2%から 7.3 ポイントの上昇となっている。また書記次長・副書記長も 24.3%で、2023 年調査 16.9%から 7.4 ポイント上昇した。

- ・執行委員、特別執行委員、専従役員に女性枠を設けている組織は少ない。 P4～5
- ・ブロック地協女性役員総数は微増。 P9

<議決機関への女性の参画>

- ・大会における女性代議員比率は 16% 2023 年調査の 18%から 2 ポイント減。

女性組合員比率 37.5%からすると、チャレンジ目標である「組合員比率に応じた女性の参画機会の確保」には届かず。 P5～6

大会における女性代議員比率は 16%で、2023 年調査の 18%から 2 ポイント減。一方地方大会は開催しない組織も複数存在する。

<方針明記・会議体の設置状況>

- ・約半数の組織が運動方針に「ジェンダー平等」の推進と明記。 P6～7
- ・「ジェンダー平等の推進」を目的とした会議体の設置は「なし」が 8 割。 P7

運動方針に明記している組織は 42 組織中 19 組織、会議体の設置は 9 組織で、2023 年調査とほぼ変化は見られなかった。

なお、ブロック地協はすべて方針の明記と会議体を設置している。

<今後の課題>

- ・調査を継続的に行うことでの産別の意識づけは高まってはいるが、全体としての大幅な変化は見られなかった。調査時期は、総務企画局が行う「各構成組織人員調査」と並行して行うことが望ましいが、役員構成については、大会後に実施することが望ましく、実施時期や頻度についても再度検討する必要があると考える。

- ・連合東京第5次男女平等参画推進計画が終了し、次期計画の策定が求められている。調査結果からも一定程度の女性役員比率は高まっているが、役員の継続性、三役への登用が課題と考える。今後は、より具体的な調査も必要と思われる。

6. 調査結果詳細（参考）

<構成組織調査>

(1) 女性組合員比率

－女性組合員比率は37.5% 2023年調査から8.5ポイント上昇－

本調査における女性組合員比率は平均37.5%で、2023年調査の29%から8.5ポイント上昇した。



(2) 役員構成

① 役職別にみた女性参画状況

－女性の役員比率は14.2%、2023年調査の13.9%とほぼ横ばい。

事務局長・書記長が17.5%で2023年調査から7.3ポイント増加－

役員総数に占める女性の割合は14.2%で、2023年調査の13.9%とほぼ横ばい。執行委員に占める女性の割合は14.8%（2023年12.8%）と2ポイント増加している。

三役に占める女性の割合は11.2%で2023年調査の10.2%とほぼ変わらないものの、三役のうち、事務局長・書記長が17.5%を占め2023年調査の10.2%から7.3ポイント増加した。また副書記長・副事務局長・書記次長が24.3%となり、2023年調査の16.9%から7.4ポイント上昇した。

また、女性特別執行委員を見てみると、2023年調査は30.4%だったのに対し、2024年調査委では11.1%と19.3ポイント減となっている。

<2024年調査>

	合計	うち女性数	%
役員総数	1,210	172	14.2%
三役合計	303	34	11.2%
委員長・会長	66	6	9.1%
副委員長・副会長	174	17	9.8%
書記長・事務局長	63	11	17.5%
副書記長・副事務局長・書記次長	70	17	24.3%
執行委員	756	112	14.8%
特別執行委員	81	9	11.1%
(議決権有)	6	1	16.7%

<2023年調査> (参考)

	合計	うち女性数	%
役員総数	992	138	13.9%
三役合計	266	27	10.2%
委員長・会長	53	4	7.5%
副委員長・副会長	164	18	11.0%
書記長・事務局長	49	5	10.2%
副書記長・副事務局長・書記次長	77	13	16.9%
執行委員	580	74	12.8%
特別執行委員	56	17	30.4%
(議決権有)	13	7	53.8%

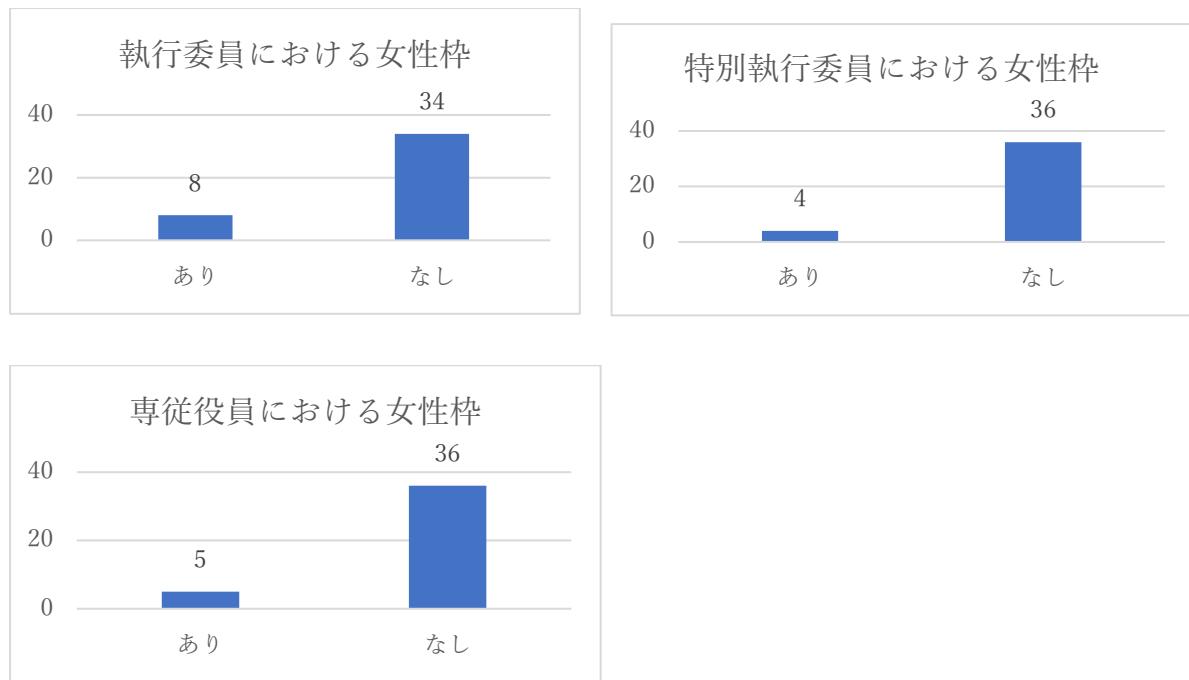
なお、構成組織の専従者数の回答組織は、12組織あり、専従者総数に占める女性の割合は14.3%だった。

②執行委員、特別執行委員、専従役員における女性枠

—執行委員、特別執行委員、専従役員に女性枠を設けている組織は少ない—

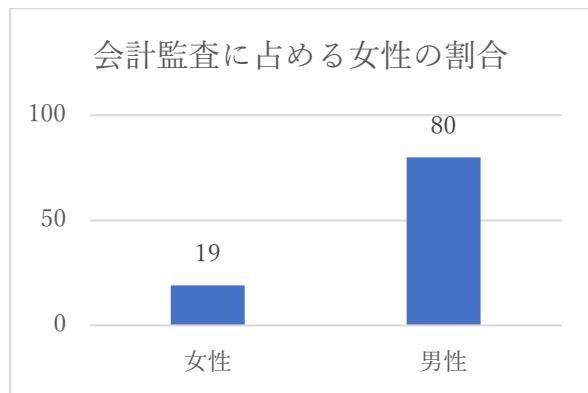
本調査における、執行委員に女性枠を設けている組織は8組織、特別執行委員に女性枠を設けている組織は4組織、専従役員に女性枠を設けている組織は5組織と2023年調査とほぼ同様の結果となっている。

※2023年調査(執行委員における女性枠「あり」9組織、特別執行委員における女性枠「あり」4組織、専従役員における女性枠「あり」3組織)



③会計監査の総数と女性の割合

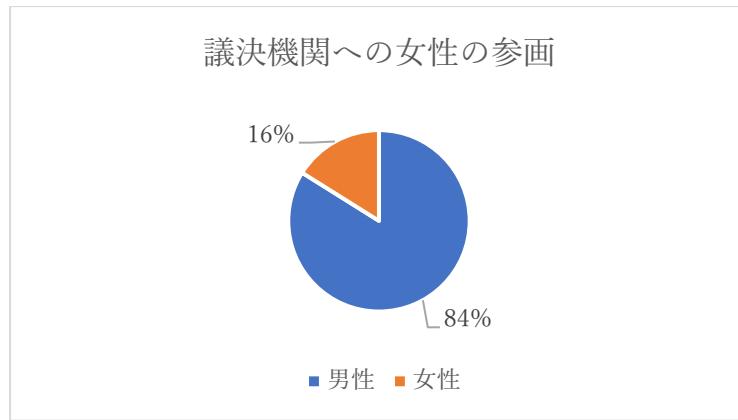
会計監査の総数は 99 名で、そのうち女性は 19 名だった。女性の会計監査を置いている組織は 11 組織だった。



(3)議決機関への女性の参画

—大会における女性代議員比率は 16%で 2023 年調査よりも 2 ポイント減—

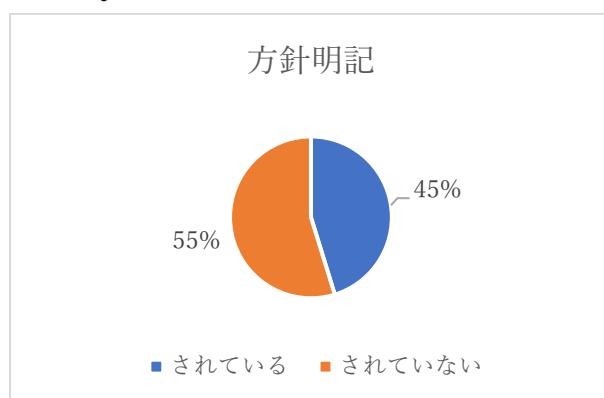
大会への女性代議員比率は 16%で、2023 年調査の 18%から 2 ポイント減となった。女性組合員比率が 37.5%からすると、「女性組合員比率にあった参画機会の確保」の目標にはほど遠い。一方、地方大会は開催しない組織も複数存在する。



(4)方針の明記

—約半数の組織が運動方針に「ジェンダー平等」の推進と明記—

運動方針に「ジェンダー平等」の推進と明記している組織は42組織中19組織で、45%。一方方針明記なしは23組織で55%を占める。2023年調査では方針明記「あり」が41%、方針明記「なし」が51%とほぼ変わらない傾向にある。



次に方針明記と回答した組織にどういった内容か聞いたところ、具体的に計画を策定し、期間を設け、数値目標に取り組んでいる組織も見られた。主な内容は以下の通り。

- ・産別の「ジェンダー平等推進計画（2021～2024年度）」を踏まえ、ジェンダー平等・多様性が尊重される組織・職場づくりに向け、中央本部と連携し、6月の強化月間を意識し加盟組合向けに学習会を開催する等、機会を捉え意識啓発に取り組んでいます。
- ・『ジェンダー平等推進に向けた取り組み』と運動方針に項を設け、以下を重点としています。性別に関わらず誰もが平等に参画し多様性が尊重され、平等・対等で人権が尊重される持続可能な社会に向けた取り組みをジェンダー平等として位置付け、ジェンダー平等・多様性推進委員会を運動の推進組織とします。
- ・女平等参画（ジェンダー平等）推進に関する取り組み目標
(※組織内に女性組合員がいない場合でも積極的に取り組む目標)

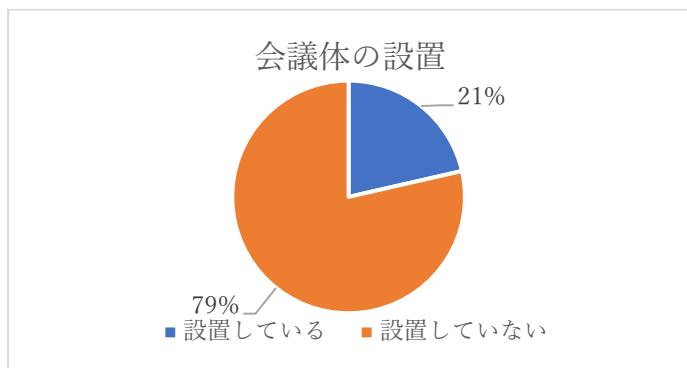
取り組み①：多様な仲間が多様な形態で参加できるよう活動スタイルを点検し、見直す（例：WEBを活用する、時間帯を見直す、など）

- ・職場組合での女性参画の促進と全国の女性組合員の交流をはかるため、「女性集会」を年1回開催する。男性も交えて話し合うことで交流の幅が拡がり、女性を取り巻く様々な問題の改善に繋げていく。
- ・トップリーダーによるメッセージの発信。
- ・連合・JCMの諸会議等への女性参加比率については30%、インダストリオールにおいては40%となっていることから、諸会議への女性参加比率の向上に向け、各単組へ積極的な参加を要請する。

（5）会議体の設置状況

—「ジェンダー平等の推進」を目的とした会議体の設置は「なし」が8割—

ジェンダー平等の推進を目的とした会議体の設置は、「あり」が21%、「なし」が79%となっている。いずれも産別本部方針に則って方針や計画を策定するが多く、東京（地方）組織として独自に計画策定や会議体の設置が難しいのも見て取れる。



一方、設置している組織にどのような活動をしているか聞いたところ以下の回答があった。

- ・各構成単組より委員を選出し、16名で運営
年5回の委員会の中で、参加単組同士の情報交換や事例共有。
年2回委員の知識向上のための勉強会を開催
- ・名称：男女共同参画委員会
メンバー：委員長1名、事務局2名、委員8名
活動内容：セミナー/年1回、地協毎の意見交換会/年1回、委員会/年3回
- ・「いきいきと働き続けるために」をテーマに、真の男女平等、ジェンダー平等に向けた取り組みを進めることをめざし、エリアの8都県から女性委員を選出し、委員による主体的な活動を行っている。具体的には、中央女性委員会の開催、各都県統括支部で開催する「統括支部女性セミナー」の統一学習テーマとして「ドメスティック・バイオレンス（DV）被害解消と支援に向けた取り組み」の学習の実施、生理休暇を必要とする人が利用しやすい環境づくりに向

け、「生理休暇取得促進月間」の取り組み、組合員への情宣活動として中央女性委員会ニュースの発行し、連合 3.8 国際女性デー全国統一行動中央集会への参加、連携団体への参画、等に取り組んでいる。

- ・執行委員会の専門機関「ジェンダー平等推進部」内で四半期に 1 回を目安にジェンダー平等推進会議を開催しており、産別組織の会議体「ジェンダー平等委員会」での審議内容の共有や、事業体内におけるジェンダー平等に係る課題解消に向けてどのような取り組みが可能か議論している。
- ・男女ともに働きやすい女性参画社会の実現に向けて、組合員へのアンケート、交渉、懇親会の開催を展開。

<産別自由記述>

- ・アクションプランにより、労働組合の男女平等参画を進めるため 30%以上の女性参画をめざすが、役員の担い手や機関会議への参画率は上がらない状況があり、自組織の機関運営をはじめ上部団体への参加要請等に対応するため女性役員に負荷が偏る傾向があり、非常に大きな課題であり苦慮している状況がある。また、アクションプランの改定も今年度に進める必要があり、実効性のある取り組みについて検討を進めているところです。
- ・当産別では地協単位で大会を開催していないため、地協単位での運動方針の策定もしておりません。上部組織である産別本部ではジェンダー平等を目的とする委員会を設置しています。
- ・職業的に、女性比率が少ない組織になっている。各単組の組合員交流会などから女性参画を目指している最中です。
- ・執行委員会の専門機関として「ジェンダー平等推進部」を設置し、連合等が主催するセミナー・集会への参加や単組内機関誌等を通じた SOGI や LGBT、DV 被害、ハラスメント、女性事務服の廃止など様々なテーマでの情報発信、労使でのジェンダー平等推進に向けた意見交換などに取り組んでいる。
- ・今年度はジェンダー平等推進部が中心となって「アライコミュニティ」を創設し、有志で組合員も参画して、LGBT や SOGI にまつわるカミングアウトやトイレの問題などについて率直な意見交換を行い、多様な背景をもつ職員が自信をもって個性を発揮しつつ、「人々が喜びをもって共生できる社会」の実現に一致団結して取り組めるような職場を形成するべく取り組んでいる。
- ・当労組では、総合的なジェンダーに関する方針・計画がありません。しかし、執行委員選挙を行う前に、専従オルグ、書記長などの役員は、女性（及びノンバイナリー）の役員候補者を積極的にリクルートします。なお、執行委員長、書記長、1 名の専従オルグは、女性です。

＜ブロック地協調査＞ 注) ブロック地協は組織人員調査を実施していないため掲載なし。

(1) 役職別にみた女性参画状況

役員総数に占める女性の割合は 8.7% で 2023 年調査の 5.3% よりも 3.4 ポイント上昇した。

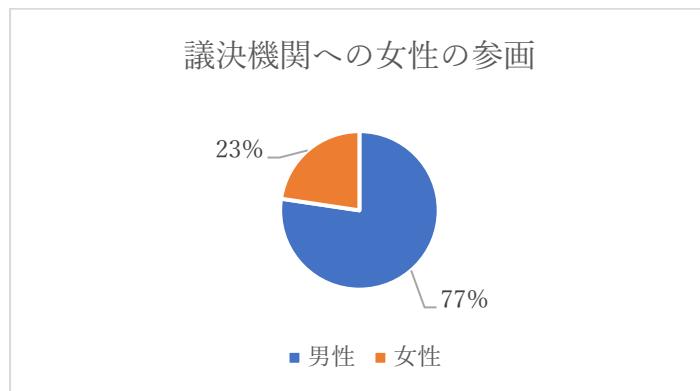
	合計	うち女性数	%
役員総数	207	18	8.7%
議長・議長代行	7	1	14.3%
	4	1	25.0%
	66	1	1.5%
事務局次長	14	3	3.0%
幹事	104	11	10.6%
特別幹事	12	1	8.3%

(2) 執行委員における女性枠

ブロック地協では、①執行委員、②特別執行委員、③専従役員における女性枠は設けていない。また、④会計監査の女性配置はゼロだった。

(3) 定期総会・地協委員会における女性参画

－地協定期総会における女性参画率は 23%－



(4) 方針の明記 －4 ブロック地協全て運動方針に明記している－

具体的な内容については以下の通り

- ・ブロック地協幹事会への「女性役員参加要請」を進めるため、女性委員会の役員増員を目的に幹事組合を訪問し、参画促進に向けた理解・協力を求めていきます。
- ・ブロック地協が開催する総会・集会等の女性役員参画率 15% 以上をめざすため、構成組織へ協力の働きかけを行います。
- ・男女平等参画推進委員会と女性委員会は、情報・課題の共有化を図るとともに共催の「男女平等

セミナー」や合同委員会での「ジェンダー平等をテーマにした意見交換会」を開催など、連携した取り組みを進めます。

- ・ ブロック地協の「第二次男女平等参画推進計画」に基づき、主要活動における女性参画率30%の達成などに向けて、具体的な取り組みを行います。
- ・ 男女平等参画推進委員会、構成組織、女性委員会が連携し、労働組合における「男女平等参画」と「ジェンダー平等」に関するセミナーなどを実施します。
- ・ 女性委員会において、将来の女性リーダーの育成と女性役員同士のネットワーク構築のため、社会課題へ気づく活動と委員の拡大を行います。また、ブロック地協三役・幹事会および政策委員会などに参画し、女性の立場からの意見反映を行います。

(5)会議体の設置状況

—「ジェンダー平等の推進」を目的とした会議体の設置は4ブロック地協全てに設置—
活動内容は以下の通り。

- ・ 男女平等参画推進委員会が2021年度から実施できていなかった。男女平等推進の取り組みについては、地協役員を対象に、連合東京の計画を再確認しつつ目標の進捗状況の共有を行い、職場の男女平等参画推進につながるセミナーや学習会等に取り組んでいる。
- ・ 男女平等参画推進委員会の取り組みは三役会議を1回、委員会を2回開催。委員会では、女性委員会との共催活動を通じて、より男女平等参画推進について理解を深めることを確認し、男女平等セミナーをはじめ、女性委員会との共催企画として、グループワーク、職場見学会等を開催。
- ・ 男女平等参画推進委員会との共催企画を含め、委員会を4回、委員会と同時開催のミニ学習会を開催しました。
- ・ 第2次男女平等参画推進行動計画(3カ年計画：2021年11月～2024年10月)の確認および実行
- ・ 男女平等参画推進委員会の開催 年1～2回(委員はブロック地協の議長代行・副議長・幹事(計12名)+女性委員会副委員長+事務局)
- ・ 三役会議と連動した男女平等参画推進委員会を年2回程度

<自由記述>

- ・ 地域での男女平等参画運動推進は重要であるが、構成組織での男女平等参画、女性活躍推進が進まないことには、実質的な女性参画には繋がらない。一方、幹事会(等機関会議)に執行権のない女性を参加させ「女性参画率が向上した」成果にすることは、本来の男女平等参画ではないよう感じる。
- ・ 組合運動の旧態依然とした進め方(定時後活動、懇親会多い、WLBが取れない等)では、女性はおろか今後の役員の担い手は不足したままだが、地域での運動の変革に妙案なく『メリハリのある運動』の進め方くらいしか着手出来ていない。
- ・ 女性委員会では、委員の増員を実現している。
- ・ ブロック地協として男女平等参画推進行動計画により女性役員の参加促進を掲げているが、現状としては、目標達成は依然として難しい。地区協には女性役員が複数参加しているケースがあるものの、ブロック地協役員への登用(地区協議長、事務局長への登用も)がない状況に苦慮している。

2025年度女性委員会活動計画（案）

資料3

	2024年 12月	2025 年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月
女性委員会	第36回定期総会 (12/4)	①幹事会 (1/17) 2025関ブロ女性会議 (1/28)		②幹事会 3.8国際女性デー中央集会 & キャンペーン(3/6)		③幹事会	都産労局との懇談	男女平等セミナー	④幹事会		⑤幹事会	⑥幹事会
参画委員会	④委員会 (12/23)				⑤委員会		⑥委員会	男女平等セミナー	⑦委員会	⑨委員会		
男女平等局		(15)執行委員会 (1/22)	(16)執行委員会 (2/19)	(17)執行委員会(3/19)	(18)執行委員会 (4/16)	(19)執行委員会 (5/14)	男女平等月間（全国一斉労働相談） (20)執行委員会	男女平等セミナー (21)執行委員会	(22)執行委員会	(23)執行委員会	第19回定期大会	(24)執行委員会第19期①執行委員会

政策委員会と連携（政策・制度要求策定作業）

政策委員会と連携（政策・制度要求策定作業）

政策委員会と連携（政策・制度要求策定作業）

第 15 回中央執行委員会確認／2024.12.19

**【重点分野－3】2025 春季生活闘争 3.8 国際女性デー 全国統一行動
街宣行動・中央集会の開催について**

I. 主旨

国際女性デーに呼応する女性の地位向上等の取り組みにあわせ、ジェンダー平等課題をはじめとする様々な取り組みを喚起・促進するために、全国統一行動街宣行動を実施し、中央集会を開催する。

II. テーマ

一人ひとりのパワーを結集！～社会を変える取り組みの加速へ～

III. 日時・場所

- <街宣行動> 2025 年 3 月 6 日（木）16:30～17:30（予定）@有楽町マリオン前
※連合東京主催にて実施予定
- <中央集会> 2025 年 3 月 6 日（木）18:15～19:45（予定）@よみうりホール
(対面：1,000 人、リアルタイムで動画配信予定)
※参加要請数は別紙参照

IV. 中央集会の内容

（司会：連合東京女性委員会）

- (1) 主催者挨拶 連合会長 芳野 友子
- (2) 基調提起 「ジェンダー平等の推進、多様性を認め合う社会の実現に向けて（仮）」
連合総合政策推進局長 小原 成朗
- (3) 基調講演
(調整中)
- (4) 好事例紹介
(構成組織、地方連合会より 1 組織ずつを予定)
- (5) 集会アピール（案）採択 連合東京女性委員会
- (6) 閉会挨拶 連合東京

V. その他

- ・中央集会は、後日連合ホームページに公開予定。
- ・マリオン前の街宣行動の弁士として、女性中執が登壇予定。
- ・第 15 回中央執行委員会（2024.12.19）確認後、@RENGO で発信。
- ・本年の開催日が「3 6（サブロク）の日」にあたることから、「Action! 3 6」と連携し、集会アピール採択後にアピールボードを用いた集合写真を撮影予定。

以上

3.8国際女性デー 参加要請数

No.	組織名	要請数（会場）	要請数（Web）	No.	組織名	要請数（会場）	要請数（Web）
1	UAゼンセン	90	60以上	26	全国ガス	8	2以上
2	自動車総連	40	40以上	27	印刷労連	4	4以上
3	自治労	60	40以上	28	セラミックス連合	4	2以上
4	電機連合	36	20以上	29	全水道	4	2以上
5	JAM	30	20以上	30	JR総連	4	2以上
6	基幹労連	20	20以上	31	全国農団労	4	2以上
7	生保労連	20	10以上	32	全自交労連	4	2以上
8	JP労組	70	30以上	33	メディア労連	4	2以上
9	日教組	10	36以上	34	全労金	4	2以上
10	電力総連	40	40以上	35	ヘルスケア労協	2	2以上
11	情報労連	70	26以上	36	労済労連	4	2以上
12	JEC連合	30	10以上	37	労供労連	2	2以上
13	運輸労連	30	10以上	38	森林労連	2	2以上
14	フード連合	16	10以上	39	全印刷	4	2以上
15	私鉄総連	6	4以上	40	全国ユニオン	2	2以上
16	損保労連	6	4以上	41	全国競馬連合	2	2以上
17	JR連合	6	4以上	42	自治労連	2	2以上
18	国公連合	44	20以上	43	港運同盟	2	2以上
19	海員組合	6	2以上	44	JA連合	2	2以上
20	航空連合	6	4以上	45	全造幣	2	2以上
21	交通労連	6	2以上	46	日高教	2	2以上
22	ゴム連合	6	2以上				
23	サービス連合	8	4以上				
24	全電線	8	4以上		地方連合会 (各実情に応じてご参加ください。)		
25	紙パ連合	8	2以上		総合計(構成組織のみ)	740	468以上

2025年1月22日

三役組織御担当者様
各構成組織御担当者様

連合東京
事務局長 佐藤 重己
男女平等局長 徳重 皓平

2025春季生活闘争「3.8国際女性デー」周知街宣への協力要請について

連日のご活躍に心から敬意を表します。

さて、今年も連合の取り組みにおいて、2025春季生活闘争「3.8国際女性デー」の取り組みが行われます。

連合東京は、連合本部と共に、女性委員会を中心に街宣行動および中央集会等、運動への周知をはかってまいります。

つきましては、連合東京構成組織の皆さまへ街宣行動へのご協力を願いいたしましたく、下記のとおりご案内申し上げます。

ご多忙の中とは存じますが、ご協力のほど宜しくお願ひいたします。

記

1. 日 時 2025年3月6日(金) 16:15~17:30 (予定)
2. 場 所 有楽町マリオン前
3. 内 容 「3.8国際女性デー」の起源や意義、2025春季生活闘争におけるジェンダー平等の取り組みについて、街頭での訴えを行う。
4. 参加要請 三役構成組織 2名（男女各1名）、以外の組織は女性1名程度
(連合東京女性委員会委員を除く)
5. 申込方法 ご協力いただける構成組織におかれましては、別紙にご記入の上、男女平等局(danjyo@jtuc.rengo-tokyo.gr.jp)までご連絡ください。
6. 期 日 2025年2月25日（月）迄
7. そ の 他 ①集合時間は16:00にご集合ください。
②●●等の配布を行います。
・街宣行動終了後、18:15より、よみうりホールにて中央集会が開催されますので、可能な限りそちらへのご参加もお願ひいたします。
8. 問い合わせ 連合東京 男女平等局 徳重・真島・永島
TEL 03-5444-0510 / FAX 03-5444-0303
E-mail : danjyo@jtuc.rengo-tokyo.gr.jp

以上

【別紙】

2025春季生活闘争3.8国際女性デー 周知街宣
報告用紙

産別・単組名 : _____

氏名 : _____

氏名 : _____

E-mail(変更等のご連絡先) : _____

【報告先】

連合東京 男女平等局

E-mail : danjyo@jtuc.rengo-tokyo.gr.jp

【会場案内図】

- ・JR 有楽町駅前の下記エリアにて街頭宣伝行動を行います。
- ・連合東京の街宣車を目印にご集合ください。





連合関東ブロック連絡会 2025 女性会議

2025年1月28日(水)13:30~17:00 山梨 古名屋ホテル2階「バンヤンツリー」

時間	議事・内容	
13:00	受付開始	
13:30	開会 1.挨拶 (1) 関東ブロック・開催地代表挨拶 (2) 女性委員会代表	総合進行: ○○ (連合山梨女性委員会) 窪田 会長 (連合山梨) 濱田 委員長 (連合山梨女性委員会)
13:45	2.挨拶・経過報告と課題提起 (連合本部) (1) 春季生活闘争におけるジェンダー平等・多様性推進課題 (2) 連合「ジェンダー平等推進計画」フェーズ2について (3) 男女平等関連政策における至近の動向など	挨拶: 小原 成朗 総合局長 (総合政策推進局) 富澤次長 (ジェンダー平等・多様性推進局)
14:30	3.各地方連合会活動報告 ・各地方連合会 3 分程度	山梨→神奈川→東京→千葉→埼玉→ 茨城→栃木→群馬
15:00	- 休憩(15分) -	
15:15	4.基調講演 「労働組合における政治活動について(仮)」	斎藤会長 (連合東京)
15:45	グループ討議	進行: ○○
16:45	6. 中央ろうきん・こくみん共済 coop 報告	(中央ろうきん) (こくみん共済 coop)
16:55	7.まとめ 8.閉会、事務連絡	宮下 事務局長 (連合山梨)
	※時間は進行の目安です。	
17:15	懇親会	乾杯: 小原総合局長(連合本部) 各地方連合会紹介 千葉→埼玉→栃木→群馬→神奈川→ 東京→山梨→茨城 中締め:(連合茨城)

連合関東ブロック2025女性会議 出席者報告

報告送付先	連合関東ブロック事務局：増田
E-mail	masuda@jtuc.rengo-tokyo.gr.jp
報告期日	12月25日（水）

メールアドレスはWEB視聴者のみ入力ください。

	地方連合会	氏名	構成組織		連合女性委員会		会議	懇親会	宿泊	メールアドレス
			組織名	役職	役職	経験年数				
1	東京	菊池 るみ	全自交	単組委員長	委員長	~10年	会場	○	有	
2	東京	渡部 沙織	情報労連	単組執行委員	副委員長	~3年	会場	○	有	
3	東京	畠谷 衣都	自動車総連	支部書記長	副委員長	~3年	会場	○	有	
4	東京	鈴木 香織	J P 労組	執行委員	副委員長	~3年	会場	○	有	
5	東京	安本 奈未	電力総連	単組EP総支部書記長	副委員長	~5年	会場	○	有	
6	東京	正田 明子	運輸労連	書記次長	副委員長	1年未満	会場	○	無	
7	東京	山本 千尋	フード東京	事務局長	副委員長	1年未満	WEB	—	無	c-yamamoto@maruha-nichiro.co.jp
8	東京	島崎 舞	基幹労連	単組支部委員	副委員長	1年未満	WEB	—	無	shimasaki6395@ihi-g.com
9	東京	島峰 晶子	私鉄総連	単組執行委員	副委員長	~10年	WEB	—	無	akiko.shimamine@tkk.tokyu.co.jp
10	東京	仲程 直子	電機連合	単組中央副執行委員長 本社支部執行委員長	事務局長	~5年	会場	○	有	
11	東京	内藤 久美子	JR連合	常任委員	幹事	~3年	会場	○	有	
12	東京	徳重 皓平	連合東京（私鉄総連）	副事務局長	担当局長	—	会場	○	有	
13	東京	真島 明美	連合東京	局長	事務局	—	会場	○	有	
14	東京	永島 理絵	連合東京	部長	事務局	—	会場	○	有	
15										
16										
17										
18										
19										
20										

連合関東ブロック2025女性会議

女性委員会活動報告

資料5-3

報告送付先	連合関東ブロック事務局：増田	
E-mail	masuda@ituc.rengo-tokyo.gr.jp	
報告期日	活動報告	1月17日（金）

地方連合会名	連合東京	※別シートの女性委員会役員体制にもご記入下さい。
会議発表者		

2024年度活動の特記事項

- ・連合東京が作成した、はたらくみんなの必読書「はらはらハンドブック」は女性委員会も座談会を通じて協力した。これらの取り組みが東京都のカスハラ条例制定にもつながった。
- ・春季生活闘争の「3.8国際女性デー」の取り組みについて、街宣活動は女性委員会が中心となり行い、中央集会は連合本部と共に催で行った。従来活動している3.8国際女性デーの取り組みに加え、2024年度は連合アクション2024春季生活闘争として、2.22連合アクションデモに女性委員会も参加し、アピール行動を行った。
- ・四国ブロック女性会議からの要請を受け、2024年7月26日（金）四国ブロック女性役員と女性委員会との有意義な意見交換会を行った。
- ・女性役員30%に向けて、男女平等参画推進委員会として考え方をまとめ、組織財政検討委員会に答申。女性特別執行委員配置に向けた規約の改正を行い、2025年度は環境整備に向けて、男女平等参画推進委員会で引き続き議論することになった。

連合関東ブロック2025女性会議 女性委員会役員体制

地方連合会	連合東京		
任期	2024/11	～	2025/10

※経験年数は
通算年数

	氏名	構成組織	単組	連合女性委員会	
				役職	経験年数
記入例	● ● ● ●	電機連合	日立労組	委員長	～10年
1	菊池 るみ	全自交東京	東洋交通労働組合	委員長	～10年
2	岡田 奈美	UAゼンセン東京		副委員長	1年未満
3	渡部 紗織	情報労連東京	NTT労組	副委員長	～3年
4	高橋 久実子	自治労東京	三鷹市社会福祉協議会労組	副委員長	～5年
5	畠谷 衣都	自動車総連東京	三菱自動車工業労働組合	副委員長	～3年
6	大森 もえ	JAM東京千葉		副委員長	～3年
7	鈴木 香織	JP労組東京		副委員長	～3年
8	山本 千尋	フード連合東京	マルハニチロユニオン	副委員長	1年未満
9	島崎 舞	基幹労連東京	IHI労連	副委員長	1年未満
10	安本 奈未	東京都電力総連	東京電力労働組合	副委員長	～5年
11	吉井 仁美	航空連合東京	JALFIO	副委員長	1年未満
12	島峰 晶子	私鉄東京	東急労働組合	副委員長	～10年
13	正田 明子	運輸労連東京	ヤマト運輸労働組合	副委員長	1年未満
14	仲程 直子	電機連合東京	東芝テック労働組合	事務局長	～5年
15	莊田 麻衣	JEC連合東京	日本特殊塗料労働組合	幹事	～3年
16	植野 那美	政労連東京		幹事	～3年
17	田島 千智	ゴム連合東京		幹事	1年未満
18	内藤 久美子	JR連合東京	新幹線メンテナンス東海労働組合	幹事	～3年
19	吉村 友里	全印刷東京		幹事	～5年

				役職	経験年数
20	深牧 友子	東京国税労組		幹事	~5年
21	森 志津江	全駐労東京		幹事	1年未満
22	池田 純霞	連合東京紙パ連合	王子製紙新労働組合	幹事	~3年
23	山崎 理世	全労金東京	中央労金労組	幹事	1年未満
24	古道 真紀子	国公総連関東東京	全農林労働組合	幹事	1年未満
25	永由 真紀子	東京教組		幹事	~10年
26	北田 綾	東急ホテル労働組合		幹事	~5年
27	清水 淳子	東京都特区現業労組		幹事	~5年
28	徳重 皓平	連合東京(私鉄東京)	東京地下鉄労組	副事務局長	
29	真島 明美	連合東京	連合東京	局長	
30	永島 理絵	連合東京	連合東京	部長	